

評価推進機構ニュース

第 12 号

今号の特集

明日の東京の第三者評価を担う新たな評価者が誕生しました！！

～評価者養成講習が終了しました！

医療、福祉、経営それぞれの分野で活躍されている 209 名の方が、評価者になるための第一歩「評価者養成講習」を受講しました。今年度の評価者養成講習は、8月29日から11月9日にかけて実施し、20代の若者から豊富な業務経験のある70代の方まで幅広い年齢層の方々が受講されました。演習ではそれぞれの専門分野を生かした活発な意見交換がされる場面もあり、これまでの経験に加え、さらに幅広い視点が養われたようです。そして、講習終了後、受講者からは「これからが勉強だ！」といった意欲的な声が多く寄せられました。



全6日間、延べ40時間余りにわたり、毎日膨大な宿題が課されるこの講習を受講し、評価現場での実習を終えた新たな評価者の方の中には、早くも東京の福祉サービス第三者評価のフィールドで活躍している人もいます。

質の高い第三者評価を目指した学習を支援するために

～フォローアップ研修（専門コース）実施中！！

高齢分野、障害分野、保育分野とさまざまなサービスに対し質の高い第三者評価を行うために、評価者にはより専門的な知識を身に付けることが求められています。また、組織マネジメントを評価するにあたっては、それぞれの現場でどんな取組みをしているのかを認識することも必要となります。

評価推進機構では、これら評価者にとって必要な学習を支援する研修として評価者フォローアップ研修（専門コース）を実施しています。このうち、前号では「保育基本編」と「経営基本編」を紹介しましたが、その後、「援助技術」「知的障害のある人への、一人ひとりに応じた支援とは」を実施いたしました。そのうち今回は「知的障害の…」を紹介します。



研修初日に、立教大学コミュニティ福祉学部の赤塚光子教授を迎えての障害者自立支援法についての講義、知的障害者入所更生施設パサージュいなぎの山本あおひ施設長よりサービス現場でのさまざまな取組みについての講義をいただいた後、(社福)東京都社会福祉協議会知的発達障害部会のご協力のもと、都内の知的障害者入所更生施設で現場体験を行い、障害特性や評価の視点の捉え方などを議論しました。研修を修了した57名の評価者からは、「この研修で得た障害特性や地域との関わりなどに関する気づきを評価に活かしたい」といった声があがっていました。

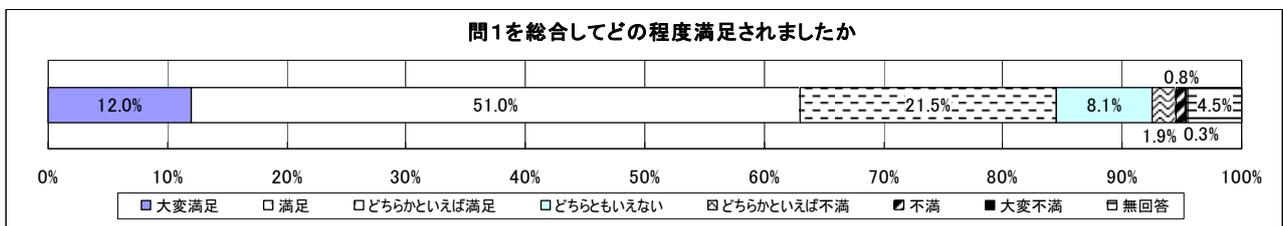
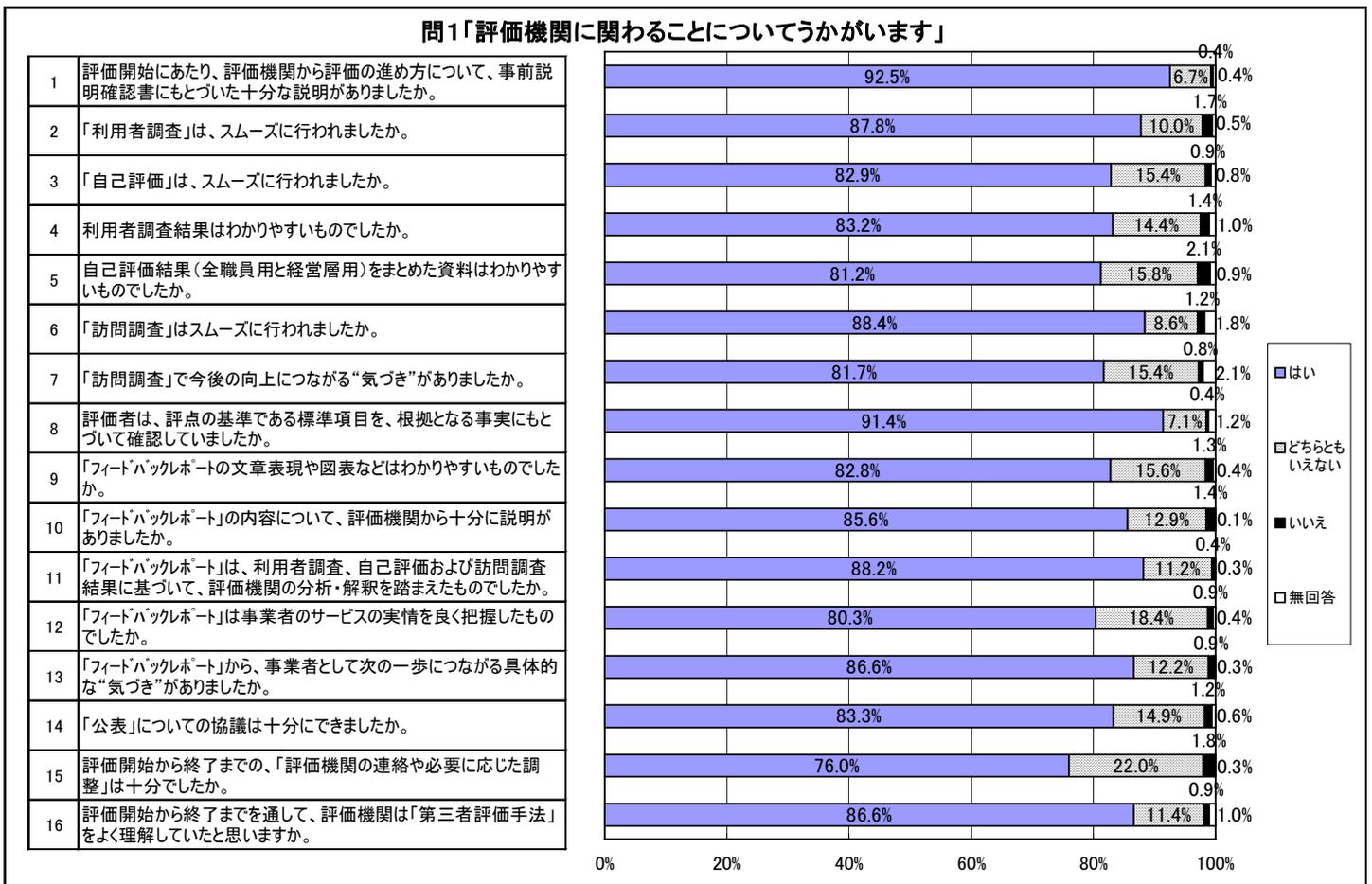
第三者評価実施事業者のアンケート結果（平成18年度）から

評価推進機構では、福祉サービス第三者評価を実施した事業者の皆様から評価制度や評価機関に対するさまざまなご意見をいただくため、アンケート調査をおこなっています。平成18年度の事業者アンケートでは、評価を実施した1,308事業者のうち778事業者から回答を得ました（回収率59%）。

評価を実施した事業者の8割以上が「満足」と回答しています

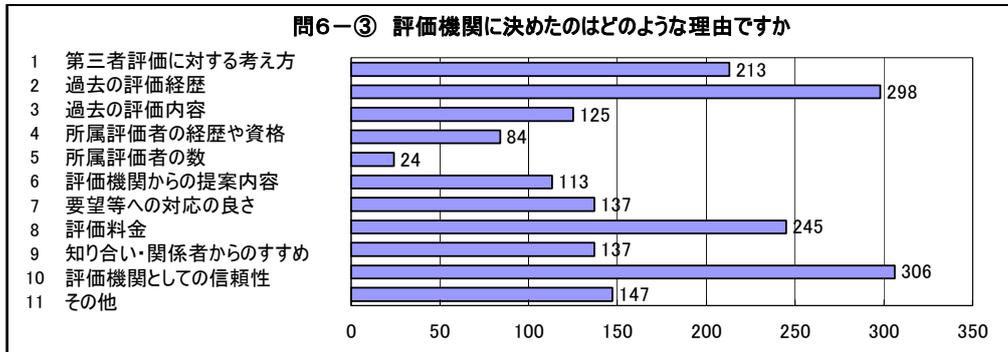
問1（1～16）は、評価機関による評価実施のプロセスについての質問項目とその回答です。問1を受けて総合的な感想をきいた質問では、「大変満足」「満足」「どちらかといえば満足」との回答が合わせて84.5%となっており、満足傾向にあることがわかります。

評価のプロセスごとの質問項目についても肯定的な回答が8割以上となっていますが、『評価開始から終了までの、評価機関の連絡や必要に応じた調整』は十分かを問う項目では「はい」の回答が76%と他の質問に比べてやや低い数値となっており、連絡調整を十分におこなって欲しいとの要望があることがうかがえます。



評価機関の選定にあたって

評価機関選定の理由として最も多かった回答は「評価機関としての信頼性」（39%）でしたが、同じく多かった回答が「過去の評価経歴」（38%）でした。このことから、これまでの評価経験を踏まえ、事業者の置かれている状況や提供するサービスについてよく理解している評価機関に評価を実施してもらいたい、と考えて評価機関を選んでいることがわかります。



評価推進機構では、今後も事業者アンケート等で寄せられる意見も参考にしながら、よりよい評価制度となるよう検討を重ねていきます。第三者評価を実施された際には、是非、事業者アンケートへのご協力をお願いいたします。

※ 平成18年度事業者アンケート結果は「とうきょう福祉ナビゲーション」に掲載しています。

<http://www.fukunavi.or.jp> トップページ→第三者評価のページから下記をクリック！

【第三者評価データファイル】→【これまでの取り組み・報告書】→【18年度年次報告】

新たに評価機関を認証しました

去る12月13日（木）に開催した認証・公表委員会において、認証申請について審査を行い、4法人について認証しました。

この度の認証で、評価機関数は126機関となりました。（平成19年12月13日現在）

【新たに認証された評価機関】

No	認証番号	評価機関名	所在地
1	機構 07-175	特定非営利活動法人 グローバルスカイ	東京都杉並区南荻窪4-39-19 ファインクレスト南荻窪403
2	機構 07-176	ニッチ・リンク・コーポレーション	茨城県龍ヶ崎市小通幸町69-3
3	機構 07-177	特定非営利活動法人 福祉推進機構アシスト	東京都北区赤羽1-62-13-402
4	機構 07-178	日本コンサルティングブレイン 株式会社	東京都港区新橋2-20-15 新橋駅前ビル1号館4階

※評価機関情報は「とうきょう福祉ナビゲーション」で、ご覧いただけます。

【評価機関を検索する】

<http://www.fukunavi.or.jp/fukunavi/controller?actionID=hyk&cmd=kknlst>

第三者評価セミナー2008のご案内

「子どもにとって有意義な第三者評価にするために」～その役割と活用例
○実際の活用方法は？ ○「サービス推進費」との関係は？ ○受審する目的は？

このセミナーは、第三者評価制度の果たす役割や補助金のしくみについてきくとともに、実際に受審した保育所がどのように評価結果を受け止め、活用しているのかをきくことにより、今後の評価実施への取組みの参考とすることを目的に実施いたします。

「保育所では第三者評価をどのように活用しているのか知りたい。」「第三者評価の目的ってどんなことなの？」etc.興味がある方は是非ご参加ください。

- ◆日時 平成20年2月26日(火) 13時30分から16時30分まで
- ◆会場 角筈区民ホール(新宿区立区民ホール)
- ◆参加対象 ① 第三者評価または利用者調査を1回程度受審している都内保育所関係者
② 参加を希望する都民
- ◆定員 100名程度
- ◆参加費 2,500円(振込手数料込)
- ◆問合せ先 財団法人 東京都高齢者研究・福祉振興財団
東京都福祉サービス評価推進機構(担当:北堀、中田)
tel 03(5206)8750

* 申込方法等の詳細は「とうきょう福祉ナビゲーション」(<http://www.fukunavi.or.jp>) 第三者評価のページより、【新着情報】をご覧ください。

(1月に立川でも実施いたしますが、応募者多数のため申込は締め切りました。)

◆ 2008年1月、2月の予定 ◆

- 1月15日、22日 フォローアップ研修(専門コース)【評価の実践例を学ぶ】Aコース
- 1月25日 第三者評価セミナー2008【保育分野】(立川)
- 2月1日、4日 フォローアップ研修(専門コース)【保育応用編】
- 2月5日、7日 フォローアップ研修(専門コース)【高齢者福祉編】
- 2月6日、13日 フォローアップ研修(専門コース)【評価の実践例を学ぶ】Bコース
- 2月26日 第三者評価セミナー2008【保育分野】(新宿)

- 発行月 平成19年12月
- 編集・発行 東京都福祉サービス評価推進機構
(財団法人 東京都高齢者研究・福祉振興財団 事業部評価支援室)
- 所在地 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ13階
- 電話 03-5206-8750
- メールアドレス hyoka@fukushizaidan.jp